

公表

## 事業所における自己評価総括表(放デイ)

|                |              |           |        |               |
|----------------|--------------|-----------|--------|---------------|
| ○事業所名          | こどもサポート広場ころる |           |        |               |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 12月 8日 |           | ～      | 2025年 12月 27日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)       | 81世帯(89名) | (回答者数) | 57世帯(全体の70%)  |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 12月 8日 |           | ～      | 2025年 12月 27日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)       | 8名        |        | 7名(全体の87.5%)  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 1月 15日 |           |        |               |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|--|---|
| 1 | スタッフの専門性を活かした個別支援を行うことができる。                | <ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズや特性に合わせたプログラムの設定。</li> <li>支援計画に沿ってプログラムを提供している。</li> <li>スタッフ間で連携しながら支援内容を協議し試行錯誤している。</li> <li>担当を概ね2人程度に固定し、関係性を築き、安心して来所できるようにしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討の開催。</li> <li>よりお子様に応じた計画の立案や支援内容の提供ができるよう協議を深める。</li> <li>外部研修を受ける機会を増やす。</li> <li>社内研修をより充実にして、実践度を定期的に振り返る。</li> <li>基本的な支援をマニュアル化し、高い基準で支援の均一化を図る(誰が担当しても基準以上の支援を提供できるように)。</li> </ul> |
| 2 | 定期的なイベント開催<br>(部活動、外部講師の招待等)               | <ul style="list-style-type: none"> <li>お子様のニーズに合わせて企画している。</li> <li>スタッフ間で参加するお子様全員が楽しめるようにルール設定などを協議し、お子様に提示している。場合によっては事前にリハーサルを行っている。</li> <li>5～10人程度の集団活動の機会を提供している。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日数の増加(お子様から希望あり)。</li> </ul>   |
| 3 | 保護者の方と連携(活動内容の報告、お悩みに対応)                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>活動の様子を報告する際にお子様の最近の様子を伺っている。</li> <li>相談があった際には別途時間を設けて面談を行う(支援の提案等)。</li> <li>保護者の方の考えを尊重する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>送迎に来所されない保護者の方と情報共有を行う機会を確保する。</li> <li>保護者の方から提供された情報をスタッフ間でより共有する。</li> <li>よりお子様の気持ちや考えを踏まえて支援を実施する。</li> </ul>   |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|---|---|
| 1 | アセスメント・支援技術の学びを充実させる。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務が多く、研修の機会を確保することが難しい。</li> <li>新入社員の研修を実施しているが、PDCAを回して改善を図っている段階であり確立されていない。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務改善委員会等で職員の声を聞き業務の効率化を目指す。</li> <li>社内研修の充実、基本的な支援のマニュアル化。</li> <li>事例検討会を実施し、具体的な支援について全員で考得る時間を設け、スキルアップにつなげる。</li> <li>外部研修に参加する機会を増やす。</li> <li>療育センター等と連携を図り、スーパーバイズを受けたり、支援見学の機会を設ける。</li> </ul>                  |
| 2 | 防犯・来客対応の再検討。                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>お子様や保護者様への対応のため職員室にスタッフがいないうち時間があり、来客対応に遅れることがある。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員室に必ず1名待機することをルールとして徹底する。</li> <li>可能な限りスタッフ数を増やし、様々なことに対応できるようにする。</li> </ul>  |
| 2 | 清掃・消毒・環境整備の徹底。                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>活動終了後に消毒の実施や片付けが出来ていないことがある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員同士で声掛けを行い、消毒の実施や片付けを徹底する。</li> <li>定期的に行動を振り返り、実践度を評価する。</li> </ul>  |
| 2 | 保護者対応の時間・場所の改善。                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務負担から保護者の方と情報交換を行う時間が減少している。</li> <li>振り返りでは短時間の報告となるため一方的に説明して終了している可能性がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務改善委員会等で職員の声を聞き業務の効率化を目指す。</li> <li>振り返りをお互いに情報を共有できる時間にするためにマニュアル化し、偏りなく保護者の方からお話を聞く時間を設ける。</li> <li>モニタリングだけでなく保護者の方がお気軽に面談を申し込めるように体制を整備したり、面談が可能であることを知らせる案内を共有する。</li> <li>保護者会を開催し、保護者の方同士が交流する機会を設ける。</li> </ul> |